

安全・良質・優しいこころの医療を、いつでも どこでも 誰にでも

# ぬくもり

2011.11  
vol.25  
秋号

地方独立行政法人静岡県立病院機構  
静岡県立こころの医療センター

## 特集内容

- 心理教育とは
- 「感染制御を考える会 世話人会」開催
- 精神科ドクターコラム

## 医療安全室です！

こんにちは、医療安全室です。

何か堅苦しい感じのする名前ですが、平成15年に発足し、今年で8年目。とこの部署にも属さない、院長直属の機関として活動しています。

えっ？どんな仕事をしているの、ですか？医療安全室では、病院の中で事故につながる可能性のある事柄を、組織・体系的に吟味検討したり、医療サービスの向上につながる可能性のある事柄について積極的に取り上げたりして、事故防止・安全な医療サービスの提供と向上に努めています。



医療安全室

「人は誰でも間違える」を前提に、事故を起こさない仕組みや、間違いを起こさない環境の整備、事故そのものを起こさない対策を組織的に講じていくこと、それが私たちの大きな役割です。

室員は専従・兼務を含めた5名。医療安全に関する相談窓口も開設しています。

お気軽にご利用下さい。

# 心理教育って何だろう？

Dr. 阿部 宏史

心理教育とは、「精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、正しい知識や情報を心理面への十分な配慮をしながら伝え、病気や障害の結果もたらされる諸問題・諸困難に対する対処法を習得してもらう事によって、主体的に療養生活を営めるように援助する方法」と定義されています。つまり、病気や障害、そのほかの問題を抱えて、知識もなく、相談もできず、途方にくれているご本人、ご家族に必要な知識や情報を知ってもらう機会を広げ、どう問題に対処するかを協働して考えることで、ご本人やご家族が自分たちの問題に取り組みやすくなり、何とかやっていけるという気持ちを回復する、そういうことを目指している支援法のひとつで、実証的効果も確認されています。家族だけのこうした集まりは、家族教室とも呼ばれます。

などと、まじめくさって書いてはみましたが、どうも私のカラーではないですね。何かこのように書いてしまうと『心理教育は難しいもの』と私でも思ってしまいます。

何も知らない土地で、ある目的地までいかなければならない時どうしますか？タクシーに乗って目的地を告げるのが一番楽でしょうけど、タクシーがない時もあるしお金がない時もある。そんな時は地図や看板、ときには地元の方に聞きながら手探り、足探りでいくこともあるかもしれません。

私は心理教育とは、その地図であったり看板であったり地元の人の温かさであると思うのです。何々？そっちの方がますますわからない？

まあそう言わずに「まんず、やってみっぺし！」



## ～ お知らせ ～

当センターが事務局となって、「心理教育・家族教室ネットワーク」の第15回研究集会・静岡大会が行われます。

- 会期：2012年3月8日(木)・9日(金)
- 会場：アクトシティ浜松・コンgresセンター
- TEL：054-271-1135 (内線：291)
- 大会専用ホームページ：<http://www.at-ml.jp/62477>



## 「精神科領域の感染制御を考える会 in 静岡 世話人会」を開催して

副院長兼医療安全室長 村上 直人

季節は秋となり、インフルエンザとノロウイルスに注意を払わなければならない季節となりました。5年前、当センターにおいてノロウイルスの院内集団感染が発生しました。以来私達はインフルエンザやノロウイルスなどの院内感染を防ぐには、どのような方法をとるべきなのか、さまざまな試みをしています。

現在当センターでは、県内のインフルエンザやノロウイルスの発生状況に応じて、消毒や清掃の方法を変えてゆくフェーズを用いた対応をし、効果を得ています。この方法を最初に考案した医師が愛媛県にある松山記念病院の山内先生（現在、大分佐伯保養院副院長）です。精神科領域での感染制御は、場の特殊性や患者さんの特性に合わせた感染制御のノウハウを考えるべきであること、マスクや迅速診断キットなど感染制御に必須な診療材料に費用がかけられない精神科病院が多い現状を変えるべく熱い活動をしているのが上記の会です。

世話人の一人として、10月1日、当センターをホストとした第6回目の世話人会が開催されました。会員病院の現状報告と、全国の精神科病院での感染制御の現状調査の報告、さらに今後十分な感染制御を行うためにはどの程度の診療材料やコストが必要になるのかの検討がされ、そうしたデータを元に今後厚労省に要望を重ねてゆく所存です。



## 精神科 *Dr.column*



### 第6回 『ワクチンで禁煙』

Dr.内田 勝久

この頃、たばこを吸う人の肩身が非常に狭くなっています。いろいろなところが禁煙となり、たばこの値段もどんどんと上がっているようです。そんなこんなで、禁煙をしようと思った人は多いのではないのでしょうか。

禁煙を助けるために、いろいろな薬や道具が世の中に出ています。将来は、インフルエンザの予防接種のように禁煙のためのワクチンがその道具の仲間入りをするかもしれません。

たばこにはニコチンという物質が含まれ、これが脳を刺激して快感を生じさせたり、もっと欲しいと思わせたりしています。ニコチンを体に取り入れても、脳にまで行かなければ、そのようなことは生じません。予防接種でバイ菌をやっつけることができるように、ニコチンワクチンを打ってニコチンをやっつけてしまえば、ニコチンが脳にいかなくなります。その結果、いくらたばこを吸ってもちっともおいしくなく、ただ煙を吸っているような感じになるだけになってしまいます。そして、いつの間にかたばこに対し魅力を感じなくなり、禁煙が達成できるという訳です。

ニコチンワクチン、いつ実現できるかわかりませんが、欧米では実用に向けて、試験が始まっているようです。



# 作業療法実習生を受け入れています



当院では医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士の実習生を受け入れています。

作業療法実習生は年間、10名程受け入れています。実習期間は3カ月程度で常時2～4名がおり、にぎやかな毎日をご過ごしています。

実習では、対象者を受け持ち、日々の活動やカンファレンスを通し、作業療法士がどのような仕事をしているのか、対象者とどのように接するのか等、さまざまな事を学びます。

写真は、外来作業療法の対象者で結成されるソフトバレーボールチームの応援マスコットを作っている様子です。



## 診療のご案内

### 一般外来

外来受付 午前8時30分～午前11時（予約制）  
 診療日 月曜日から金曜日まで  
 休診日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始  
 診療科 精神科  
 その他当センターを利用する方々の為の  
 内科・外科・歯科外来があります。

### 専門外来

老年期こころと物忘れ外来 <60歳以上の方>  
 老年期のこころの悩みや物忘れなど、老年期特有のこころの専門外来です。

◆一般外来・専門外来とも、全て予約制となっています。予めお電話でご予約下さい。

予約受付日：月曜日～金曜日  
（祝祭日を除く）

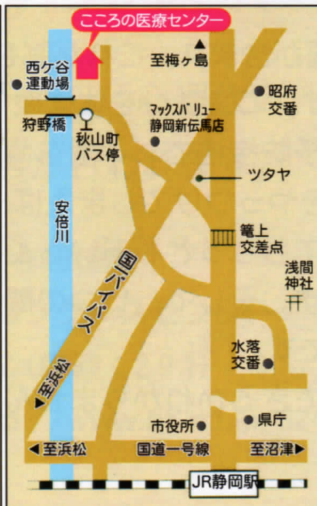
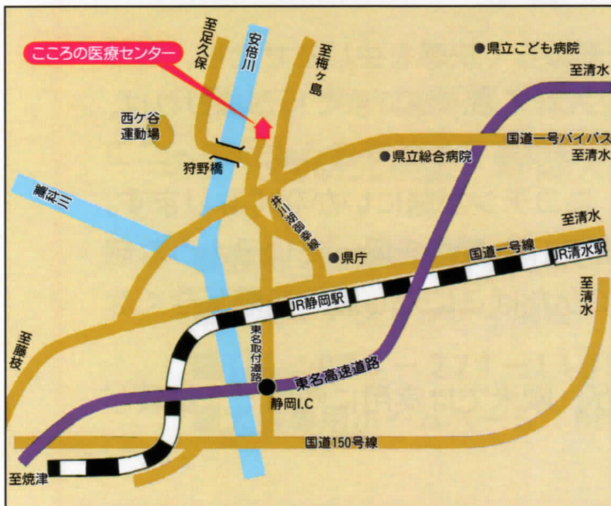
予約受付時間：午前9時～午後4時  
受付先：よろず相談スタッフ  
電話：054(271)1166

◆現在、他の医療機関に通院されている方は紹介状をお持ちください。

### 外来担当表

診察室	月	火	水	木	金
第1	村上直	平田	伊藤	村上直	
第2		五條	渡邊	鈴木	鈴木
第3	阿部	大橋	阿部	大橋	五條
第4	救急	救急	救急	救急	救急
第5	新患	新患	新患	新患	新患
第6	梶塚	梶塚	村上牧		村上牧
第7	内田	櫻井	仲田	仲田	内田

## 病院周辺図及び交通のご案内



### 交通のご案内

バス/美和大谷線 静岡駅より約25分  
（静岡駅前9番のりば 美和、足久保田方面行き秋山町下車、徒歩5分）

くるま/静岡駅より約15分



地方独立行政法人 静岡県立病院機構  
静岡県立こころの医療センター

（財）日本医療機能評価機構認定病院  
 〒420-0949 静岡市葵区与一4丁目1-1  
 電話：054-271-1135（代表）  
 F A X：054-251-6584  
 URL：http://www.shizuoka-pho.jp/kokoro/